



マッシー川口の  
from New York from New York from New York

# from New York

「春になったよ。ソーホーをぶらり」の巻

ヤッホー！ 春爛漫いかがお過ごし～？ 今年のNYは春が遅かったけれど、すでに夏時間になり、ストリートでも桜にそっくりの「ドッグウッド」(犬の樹)の並木がうっすらと色付いてきた。うちの中庭の「平安桜」もしなだれた枝にポツポツと小さな白い花が咲き始めたわ。毎年、この季節には日本のソメイヨシノが無性に恋しくなる。NYにもボタニカルガーデン(植物園)やセントラルパークなど、桜の咲く場所はあるけれど、お花見をする習慣のないアメリカでは、ひと味違うのよね。樹の下でほろ酔い気分でお花見弁当をつつく、あの日本独特のお花見がしたいわー。

ところで話は変わるけれど、今日ソーホー(マンハッタンのおしゃれスポット)を散歩したら、ついにここにも多くのブランドショップが進出してきたわね。@@)ブランド人気が続く日本ほどじゃないけど、ソーホーにも5番街のようにレイ・ヴィトンをはじめ、あれこれとブランドショップが増えているのよ。「グッゲンハイムソーホー」でお馴染みだった美術館の土地の一部を「ブラダ」が買い占め、建物全体にいきなり「prada」のグレーの壁紙が張り巡らされたときは面喰らったわ。いずれ大きなショップがオープンするらしい、ブラダは嫌いじゃないけど何故ここに？ という感じだし、街のアート色が薄れていくのはちょっと残念ね。

そもそもソーホーはSouth of Houstonの略で、その名の通りハウストン通りから南、ブロードウェイから西の地域を指し、農地から住宅地になったのち、19世紀後半には産業地区になり、それが廃れたあとの空き倉庫ビル(=ロフト)にアーティストが移り住んできたという歴史がある。今でもアートとファッションの中心地とされているけど、ファッションについては観光地化に伴い、徐々に大衆化されてきたのね。今でもギャラリーは健在だけど、かつてソーホーと言えば最先端の「とんがった」ブティックがメインだった。最近ではその流れもノリータ(North of Italy)に移ったようで、ソーホーにはブランドモノが増えて、すでに大人のファッションの街になったようね(値段も高いしね)。バッグの「ケイト・スペード」や日本でも人気の「アナ・スイ」、奇抜な「トッド・オールダム」、「イッセイ」 「ヨウジ・ヤマモト」などが、一般系の「パナ・リバ」、「アルマーニ エクスチェンジ」、「クラブモナコ」、「フレンチコネクション」などに混じっていて、おしゃれなブティックはどこも買い物客でいっぱい、でもブランドショップはやっぱり日本人が多い！

とはいえ、いわゆるソーホーらしい「カースト・アイアン」と呼ばれる鋳型で作った鉄の骨組みを使う工法の建物に入ったブティック、



e-mail : masshyK@hotmail.com

## カワグチ マサヨ

「NY在住のフリージャーナリスト。95年に渡米し、日本での取材番組のキャリアを生かして、テレビやラジオ、インターネットにNYからレポートを発信している。4月からはNHKのBS「新真夜中の王国」でNYレポートを担当するほか、毎日放送でも土曜深夜のラジオ番組( & ウェブ)に登場している。  
www.masshy.com



コスメ、アクセサリ、アートショップ、レストラン、カフェなどが並び、石畳のストリートが続くソーホーはマンハッタンのなかでも大好きな場所。ぶらぶら散歩するだけでわくわく楽しい。^^) : ちなみに、ここから南に10分ほど歩けば、チャイナタウンとリトルイタリー。ここにはブランド品のフェイクもの、つまり放送用語でよく使われる「あやしい」お店が並んでいて、本物に似せたブランドのバッグやアクセサリがたくさん売られている名所なのよ。

● そんなソーホーのどまんなかを散歩の途中に「MAC」で不思議なものを見発見！ この「MAC」はマッキントッシュでも、マクドナルドでも、マックスファクターでもなく、スーパーモデル御用達ということで以前大ブレイクしたコスメブランドです。ご存知よね？ いつ

● もコスメは「FACE」とかをよくチェックするのだけど、徐々にスプリング通りの「MAC」を覗いたら、新商品のコーナーはなんと「MAC CUISINE」(マック料理)となっていた。ギャラリーのような店内に流れているプロモーションビデオも「蕎麦」や「れんこん」、「椎茸」などのアートっぽい映像。どうなってるの？ って思ったら、どうも新色のイメージらしい。隣に置いてある赤いアイシャドウはその名も「SUSHI FLOWER」(寿司花)だし、青いのは「ELECTRIC EEL」(電気ウナギ)、ページュブラウンのリップグロスには「SHIITAKE」(椎茸)、赤い口紅は「SASHIMI MIMI」(刺身ミミ)だったのよ！！ へ～。

● この何年かの日本情緒ブームで、「勉強」とか「愛情」とか「根性」とか、漢字のロゴをTシャツや帽子につけるのが流行ってるけど、アジア自然カラー

- も流行していたのね。冒頭に書いた桜ならわかるけれど、食べ物と化粧品をミックスして、お刺身色の口紅ってのはどうかしらんねー？
- 醤油リップなんてしょっぱそうなのも出て来そうね。寿司などの日本食ブームを直接ぶつけるのもアメリカ人らしいし、意外に受けるかもしれないわね。ウフフ。
- 日本では昨今なんと言っても偏光カラーが大流行。マニキュアでもシャドウでも、赤だけど角度によって緑に光るとか、紫だけど蒼に光るとか、空前の「光り」ブームよね。やはり、日米で流行も違うのかも。流行と言え、日本で流行っている「網タイツ」。アレもこちらでは流行らないわね。だって、アメリカで網タイツは娼婦の象徴。アメリカ人は意外とコンサバだしね。ファッションじゃないけど、日本の携帯のiModeに似たサービスも、まだ使ってる人は少ないけれど今後はどうなるのかしら？ 気になるところね、すぐモノに飛びつかないアメリカ人のこと、ブランド同様しばらくは流行らないかもね。
- てなわけで、ではまたね、シーユーネクストタイム！ マッシー：)

● 今月の関連サイトはココ！

- MACのサイトはアートっぽい [www.maccosmetics.com](http://www.maccosmetics.com)
- ソーホーはこんなとこ！ [www.turnstyle.com/soho/](http://www.turnstyle.com/soho/)

Illustration : Kido Satoko





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)